



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

諸行無常

住職 平田真純

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」

鐘の音が消え行くように、栄華を極めた平家一門も、やがてはかなく散ってゆく。『平家物語』冒頭のこの有名な句のせいか、仏教用語の「諸行無常」という言葉には、切なく寂しいイメージが付きまといまいます。

しかし本来は、絶えず生滅変化をしているというこの世のありさまを表す言葉であり、悲しいとか嬉しいとかの感情を表現する言葉ではありません。

「諸行」の「行」は、インドのサンスクリット語の原語では、「形成力」とか「形成されているもの」という意味です。すなわち無数の縁によって形成されているものや現象を表しています。「諸行」となると、諸々の行、つまり縁によって生滅変化するすべての存在・現象となります。「諸行無常」とは、一瞬たりとも同じであり続ける存在・現象はないということです。そしてここでキーとなるのは「縁」です。

「驕る平家は久しからず、ただ春の夜の夢のごとし」これも『平家物語』からの一句ですが、平家の没落には、「驕り」という因縁があり、それによる行動や言動などの縁が、積もり積もって、重なり合って導かれて

た一つの結末でありましょう。

諸行は無常であるゆえに、善因善果、悪因悪果、悪い因縁は結ばず、良い因縁を結ぶ。『平家物語』の前述の二句は、このような仏教的な教訓も説かれているものと思います。

しかし私たちは、「諸行無常」「善因善果」など頭ではわかっているけれども、いざとなると、ちよつとした変化にも動揺したり、良い因縁を見極められないことも多いものです。信仰によって心に中心を保ち、生活の中での実践に役立てたいものです。

ところで当山の「朝参り会」は来年で七十周年を迎えますが、七十年度の時代の移り変わりは、まさに「諸行無常」です。ただし、熱心に聖天様に参拝する心は、不変的に受け継がれています。



昭和25年発足当時の朝まいり会

待乳山便り

七五三 お宮参り

渡邊瑛亮くん

館蒼ちゃん・館楓ちゃん

尾崎丈土くん



大山月燈ちゃん



樋口心咲ちゃん



金子友葵ちゃん



浅倉音侑ちゃん



待乳山聖天 お月見の会報告

生憎の天気でしたが、本堂内陣の

左側に描かれている月天に向かつて月待法要が執り行われました。

法要の後は大広間にて重要無形文化財、竹本弥乃太夫丞の義太夫と望月太左衛師匠のお囃子と公演がありました。

百五十名ほどの観客が大広間に集まり、大好評の中お月見の会は終了いたしました。

深川さんほ 報告

秋らしい過ごしやすい天気で絶好のお散歩日和の中、深川さんぽが行われました。

聖天様の安置されている永代寺では平田住職の導師のもと、参加の皆様で般若心経をお唱えしました。

深川不動では護摩祈祷をしていただき、特別に堂内をご案内いただきました。



名物の深川めしをいただいたあと、清澄白河方面へ十五分ほどの散歩をして、深川江戸資料館にてボランティアの方からの説明を受けながら観覧しました。

日帰りながら、充実したイベントとなりました。



十二月御縁日大法要・行事紹介

十一面観音様御開扉

十二月八日(日) 午前九時から午後二時

十二月八日に御本尊大聖歡喜天様の御前立ち、十一面観音様の御開扉が行われます。

浴油祈祷終了後、住職によって御宮殿が開かれ、内々陣手前にて参詣いただけます。

普段は見ることのできない十一面観音様を近くから見ることでできる一年に一度の機会です。

午後二時には閉扉の法要が執り行われますので、ご参詣の方はお早めにお越しください。

なお、午前九時の日曜勤行は通常通り行われます。

星祭

十二月二十二日(日) 午前十一時

講金一、五〇〇円(一鉢毎五〇〇円) 送料二〇〇円
一年間の除災延命を星に祈る星祭を執行いたします。

お申し込みの方にはお名前と年齢が入ったお守りを授与します。用紙にお名前と生年月日をご記入の上、寺務所にて受付ください。

納めの法要 十二月三十一日(火) 正午

大晦日、一年の御加護に感謝し、正午から本堂と境内の各末社で読経いたします。

十二月、一月の坐禅の会はお休みさせていただきます。

ご真言

当山の法要の最後にお唱えするご真言について多くご質問をいただきましたので、こちらのコーナーで解説をいたします。

今回は大般若法要でお唱えするご真言をご説明いたします。

当山の大般若転読法要では、般若心経と観音経偈文をお唱えしたあと、次の順番でご真言をお唱えしております。

- 大日如来 だいにちによらい
 - 仏眼仏母 ぶつげんぶも
 - 歡喜天 かんぎてん
 - 十一面観音 じゅういちめんくわんおん
 - 毘沙門天 びしゃもんてん
 - 三宝荒神 さんぼうこうじん
 - 三部惣咒 さんぶそうじゆ
 - 諸天惣咒 しよてんそうじゆ
 - 十六善神 じゅうろくぜんしん
 - 一字金輪仏頂 いちじきんりんぶつちやう
- アビラウンケンバサラダトバン
 - オンボダロシヤニツワカ
 - オンキリギヤクウンソワカ
 - オンマカキヤロキヤソワカ
 - オンベイシラマヤソワカ
 - オンケンバヤケンバヤソワカ
 - オンアサバソワカ
 - オンロキヤロキヤキヤラヤソワカ
 - 南無般若十六善神 なむはんばにやじゆろくぜんしん
 - ボロン

大日如来は、密教においてあらゆる仏様の本地とされておりす。すなわち、あらゆる仏様は大日如来の化身・方便の姿となります。

ご本尊の聖天様は凡夫である私たちの願いを叶えてくださる天部の仏様ですが、その本来の姿も大日如来であり、また、その大日如来の究極の方便の姿

が聖天様であります。

密教の世界を図で表す

曼荼羅には胎蔵界と金剛界の

二種類があり、それぞれのご本尊である大日如来のご真言、胎

蔵界の「オンアビラウンケン」、金剛界の「オンバサラダトバン

を合わせたご真言が「アビラウンケンバサラダトバン」です。

仏眼仏母は、文字通り仏様の眼となる女尊で、我々を慈悲の心で仏道へ導いてくださいます。

仏像や御札、お守りの開眼、お加持にも欠かせない大事な仏様です。

当院では聖天様（歡喜天）の御前立ちとして十一面観音様がおられ、左右には毘沙門天、三宝荒神がいらつしやいます。

聖天様の強大な力を十一面観音様の慈悲の心で導き、左右の両尊がサポートをするという形になっております。

以降は次号にて解説いたします。

本堂煤払い

十二月六日（金）、正午より今年一年の塵を払う煤払いを行います。当日のご参拝、お札のお受け取りなどは午前中のみとなります。例年は七日ですのでお間違いないようにご注意ください。



胎蔵界曼荼羅



金剛界曼荼羅

正月行事ご案内

正月特別即時祈祷 三が日の午後一時、二時、三時より、特別即時祈祷を厳修いたします。内陣にて行者が皆様の新年の開運を祈願致します。

祈祷料 三、〇〇〇円

お屠蘇接待

三が日の間、本堂において信徒総代、世話人より当山名物の開運お屠蘇と、お子様にはお菓子の接待がございます。お参りがお済みになりましたら、ぜひお召し上がりください。

毘沙門天の特別拝観

元日〜十五日 普段本堂の奥におまつりしております浅草名所七福神の毘沙門天様を、内陣左手手前の仮座におまつりします。ぜひご参拝ください。

大般若講 大根まつり

一月七日（月）午前十一時より午後一時 大般若講の法要後、皆様の身体健全・厄除け祈願の風呂吹き大根をお配りいたします。

大根まつりお手伝い募集

大根まつりの前準備及び当日の運営のお手伝いを募集いたします。五日、七日両日ともお手伝いいただける方のみ、寺務所にてお申し込みください。募集人数 先着二十名

十二月行事予定

御宮殿御開扉

十二月八日(日) 午前九時から午後二時 参拝 無料

秘仏の御前立ち十一面観世音菩薩様を参拝できます。

星祭大法要

十二月二十二日(日) 午前十一時 講金一、五〇〇円也(一躰増毎五〇〇円)

来年の除災延命祈願をいたします。一人一人にお守りを授与いたしますので、ご家族でお申し込みください。

朝まいりり会

十二月一日〜七日 午前八時から八時半 会費 五〇〇円也

都合のよい日に、ご参加くださっても結構です。最終日には、読誦終了後に食事作法を行います。

本堂煤払い

十二月六日(金) 正午から

恒例の煤払いを行いますので、お参りは午前中にお済ませください。

日曜勤行

十二月八日(日) 午前九時 参加費 無料

初心の方も気軽にご参加いただけるおつとめの会です。

写経の会

十二月八日(日) 午前十時/午後一時 会費 五〇〇円也

心を落ち着かせて写経することで、日常を離れ、自分を見つめ直しましょう。

午後の方が人は少ないため、落ち着いて写経が行えます。

合同大般若法要

十二月二十五日(水) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也

心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんと一緒に上げする御礼の法要です。

納めの法要

十二月三十一日(火) 正午

この一年のご加護に感謝し、本堂を始め、各末社にお参りいたします。

一月の行事 御縁日大法要

大根まつり 一月七日(火) 午前十一時 講金 二、〇〇〇円也

百味講 一月二十日(月) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

祈禱料

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力により一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。

またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

別座祈禱 壱万円(一週間)

浴油祈禱 三千五百円(一週間)

華水供 五百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行うっております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。ご意見やご質問は kyou@matsuchiyama.jp までメールをお送りください。